

平成21年度一般会計当初予算説明資料

8 款 土木費

3 項 河川海岸費

八頭総合事務所県土整備局（電話：0858-72-3923）

1 目 河川総務費〈地方機関計上予算〉

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
徳丸ドンド等保全対策事業	20,697	5,000	15,697				20,697	
トータルコスト	24,011千円（前年度 5,304千円）							
従事する職員数	正職員：0.4人							
主な業務内容	地元説明・調整、工事発注、現場監督業務、庁内関係課との調整、徳丸ドンド対策検討委員会、徳丸ドンド地質検討会開催							

事業内容の説明

1 事業の目的・背景

- ・徳丸ドンドは、扇ノ山の火山活動により流出したと思われる溶岩が河川内に弧を描くような滝を形成した貴重な自然環境・景観である。
 - ・従来から住民の方が水遊びや魚釣り等に活用されており、地域に密着した場所である。
 - ・また、地域住民による徳丸ドンド周辺の江戸時代に構築された勘右衛門土手やニラ畑など歴史・文化等の資源を活用した地域づくりが始まっている。
 - ・徳丸ドンドは、特に近年、河床洗掘が進行・拡大しており、貴重な自然環境が失われつつある。
 - ・更に、河床低下で左岸側護岸の安全性にも問題が生じている。
 - ・治水対策による地域住民への安心・安全の確保とともに、徳丸ドンド等の地域資源を核とした地域づくり（地元・町・大学等との連携）を支援するもの。
- ※「徳丸ドンド等対策検討委員会(H18)」(地元、学識経験者が委員)を開催し、周辺環境の現状把握、対策工法の検討、利活用方策の方向付けを検討。

2 事業の内容

(1) 治水対策の実施

- ・鳥取大学のシュミレーション（H20実施）に基づく水制工等を施工することにより、護岸洗掘を防止し、下流の人家を水害から守る。

(2) 徳丸ドンド対策検討委員会の開催

- ・対策工法の最終確認及び、施工中の対策工の効果を検証することで問題点を抽出し、今後の課題を検討。

(3) 徳丸ドンド地質検討会の開催

- ・徳丸ドンドの成り立ち等について調査・検討し、結果を学校や地域住民へ教材として配布するとともに、現地に徳丸ドンド説明看板を設置することで地域住民の関心を高め、ひいては地域の活性化を支援する。

(事業計画)

H21年度：対策工事实施（水制工等）・・・20,000千円

徳丸ドンド対策検討委員会、徳丸ドンド地質検討会・・・397千円

徳丸ドンド説明看板設置・・・300千円

3 事業実施位置

